

研究結果 (部会別報告) ※「執筆上の注意」に準じて作成しています。

- I 研究に当たって ←指導・幹事
 ※この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体
 ※項立て(プロット)はお任せします。
- II 主題に迫る実践事例 ←研究委員
 ※この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体
 ※部会内で最初に実践をされる方のみ、この見出しを付けてください。二人目以降は構いません。

《第〇学年》

領域 「B書くこと」

←(10.5ポイント・MSゴシック体)

(単元名) 考えと理由を整理して書こう

←(14ポイント・MSゴシック体)

言語活動

考えたこととその理由を順序立てて書く

←(10.5ポイント・MSゴシック体)

要約 ←(横2倍文字・MSゴシック体)

35字×10行程度

- 1 学習材名 ←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体
 「理由がわかるように書こう」(東京書籍三年下)
- 2 単元目標 ←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体
- 考えたこととその理由を順序立てて～しようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
 - 考えたことを段落相互の関係に注意して～書くことができる。(書くこと)
 - 理由を表す時に使う言葉を～できる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
- 3 言語活動とその特徴 ←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体
 本単元では、言語活動として～を位置づけた。～を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。
- 4 単元について ←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体
- 児童について ←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体
 本学級の児童は、毎週の日記の課題に意欲的に取り組んでいる児童が多い。授業の振り返りや物語を読んだ感想文などを書く際は、～している。(※本実践で付けた力の現状を、具体的に示してください。資料やワークシートを示していただいても構いません。)

○ 単元構成について（学習材について）

↑この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

○ 指導について

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

5 単元の評価規準

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 書く能力	ウ 言語についての 知識・理解・技能
1 ～しようとしている。	1 ～している。 (指導事項)	1 ～している。

6 単元の指導計画

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法等
一	1 ①	○学習の見通しをもつ。 ●単元のねらいを知り、 学習の見通しをもつ。	・学習の～意識をもたせ る。	・段落の役割について興 味を～、見通しをもっ ている。 (アー1) 観察

7 指導の実際

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

第一次

- 学習の見通しをもつ。

自分が見つけた生き物の特徴を知らせたいという思いに立たせ、来年入学する園児に紹介する文章を書くという学習の流れを伝え、相手意識と目的意識をもたせた。教師のモデル文を紹介したことで、学習の課題と今後の見通しをもたせることができた。

第二次

- 伝えたいことを選び、文章に書き込む。

発見した特徴を書くために、付箋を用いて～。

※本実践で付けたい力を付けるために重点的に指導した部分を中心に写真や資料、ワークシートをなどを示しながらまとめてください。その他の部分については、指導計画と異なった部分や、ねらった力に関係する児童の学習の様子について簡潔に書くようにしてください。(指導計画のすべてについて、詳しく指導の実際を紹介していただく必要はありません。)

8 成果と課題

研究主題に迫るために、「考えと理由を整理して書こう」という学習を組み立てた。その際、次の3点を大切に～。(※一例です。必ずしも「次の何点を～」とならなくて構いません。) その結果、本実践を行う前には～であった児童の書く力について、次の変容が見られた。

III 研究の総括

←指導・幹事

※この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

※項立て（プロット）はお任せします。